

令和4年度の二酸化炭素排出量の公表資料について

令和4年度の温室効果ガス排出量(CO₂)を次のとおり公表します。

本計画は令和12年度までに基準年度比で15%の温室効果ガス(CO₂)削減を目標としており、基準年度排出量(970.7t CO₂)に対して目標排出量は(825.1t CO₂)です。

令和4年度の神崎町役場全体の温室効果ガス(CO₂)排出量は、952.0t CO₂でした。基準年度に比べて18.7t CO₂減少しました。また令和3年度と比較すると21.9t CO₂減少しました。

減少の要因は、CO₂の排出量を求める際に使用する排出係数の低下と「電気の使用」によるものです。電気の使用量を減少させるために、時間指定した照明設備の消灯や時間外勤務における照明設備の使用制限を実施したことが減少の要因と考えられます。

また、「燃料の燃焼」の使用量については、時間外勤務における空調設備の使用制限を実施したことが減少の要因と考えられます。

電気の使用

| 年度 | 電気の使用量(kWh) | 温室効果ガス(CO ₂)排出量(t) |
|-------|-------------|--------------------------------|
| 令和4年度 | 1,547,605 | 691.779435 |
| 令和元年度 | 1,508,211 | 705.842748 |
| 差 | 39,364 | -14.063313 |

燃料の燃焼

| 年度 | 燃料の燃焼量(L) | 温室効果ガス(CO ₂)排出量(t) |
|-------|-----------|--------------------------------|
| 令和4年度 | 86,653.2 | 217.60178 |
| 令和元年度 | 87,147.3 | 218.88555 |
| 差 | -494.1 | -1.28377 |

一方、「公用車の使用による燃料の燃焼」については、軽油とガソリンの使用量が減少したことにより二酸化炭素排出量が約3.3t減少しました。しかし令和3年度と比較すると約3.9t増加しました。増加の要因は、各種団体の研修や職員の参加する会議がWebから対面へと変化し公用車の使用頻度が増加したことによるものと考えられます。

公用車の使用による燃料の燃焼

| 年度 | 燃料の燃焼量(L) | 温室効果ガス(CO ₂)排出量(t) |
|-------|-----------|--------------------------------|
| 令和4年度 | 17,200 | 42.63660 |
| 令和元年度 | 18,530 | 45.96192 |
| 差 | -1,330 | -3.32532 |

令和4年度の二酸化炭素排出量は基準年度よりも減少したため今後も継続し

て、計画に則した取組を実施できるよう推進し、目標排出量（825.1 t CO₂）に向けて二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。